

HAM Log とトランシーバーとの接続

JP3AZA 河田 至弘

はじめに

HAM Log は多くのハムが使用している業務日誌ソフトで結構使い勝手がよく重宝していますが使用するに当たってはトランシーバーとパソコンを接続するとトランシーバーの持っている周波数、電波形式等の情報を取り込むことが出来ます。日付、時間、デフォルトのレポートはパソコンで持っているデータを使用して、周波数、電波形式はトランシーバーから取り込めると最低限度のロギングは相手局のコールサインの入力のみで済ませることが出来ます。これがすべてではなく必要に応じて入力すれば通常通り入力することができるので時と場合によっては使い分けが可能となります。

HAM Log は下記のホームページからダウンロード出来るフリーソフトです。

<http://www.hamlog.com/>

インストールに当たってもホームページでの指示通りで簡単にインストールできますがトランシーバーとの接続に関してはいろいろな種類のものがあり、個別に詳細には分かりにくいところがあります。私は数年前からトランシーバーとパソコンと接続して運用していますが結構重宝していますのでここに FT-1000MP MkV Field と接続設定を中心に例としてまとめて見ました。

パソコンとの接続

先ずパソコンとのデータをやり取りするケーブルを接続します。最近のトランシーバーは RS232C ドライバーを内蔵している機種が多く (FT-1000MP Field、IC-756-pro、TS-480 等) 特別なケーブルを作ることもなく、市販の RS232C 用ストレートケーブルをそのまま使用することが出来ます。このケーブルはパソコンショップで販売されていて大体 1000 円前後で入手することが出来ます。このケーブルで FT-1000MP Field 背面の CAT ポートとパソコン背面の COM ポートを繋ぎます。

パソコンの設定

接続が完了するとパソコン、無線機器ともに動作させて パソコン側の設定を行います。

No	Call	Date	Time	His	My	Freq	Mode	Code	G-L	QSL	Name	QTH	Remarks
2639	8JHFC	04/09/04	18:23J	59	59	10.129	CW						BH
2636	JABPC	04/09/17	20:00J	59	59	21.185	SSB		J		高橋	東淀川	FT-920, 100R, 2ele00
2637	JAJUSA	04/09/18	09:00J	59	59	14.160	SSB		J				BH i house RC
2638	JAJUB	04/09/18	09:00J	59	59	14.160	SSB		J				BH
2639	JAJAA	04/09/18	09:00J	59	59	14.160	SSB		J				BH
2640	JAJPC	04/09/18	09:00J	59	59	14.160	SSB		J				BH
2641	JAJER	04/09/18	09:00J	59	59	14.160	SSB		J				BH
2642	JEBED	04/09/18	09:00J	59	59	14.160	SSB		J				BH
2643	JPLILG	04/09/18	09:00J	59	59	14.160	SSB		J				BH
2644	JABOA	04/09/18	17:52J	59	59	14.160	SSB		J				BH
2645	JASDAY	04/09/21	23:02J	59	59	21.215	SSB		J				BH
2646	JIONNM	8 04/09/23	10:00J	599	599	10.130	SSB		J				BH
2647	JNITTO	8 04/10/10	19:04J	59	59	3.554	SSB		J			糸魚川市	BH
2649	JAJGFA	3 04/10/11	13:10J	59	59	21.215	SSB		J			美地	BH
2649	JASRL	04/10/11	15:28J	59	59	7.038	SSB		J			野村	松山市 愛媛県境川ノ月間
2650	8JZTK	04/10/11	15:32J	59	59	7.065	SSB		J			津田	常崎市 愛知県常
2651	JHMSA	04/10/11	21:55J	59	59	21.214	SSB		J			徳本	摂津市
2652	JAJFON	04/10/11	22:08J	59	59	21.214	SSB		J				BH

HAM Log のプルダウンメニューからオプション→環境設定を選択します。

更に環境設定を開くとその中の設定 5 に目的の rigs に対応する項目があります。ここではパソコンで使用する COM ポートの番号を設定し、FT-1000MP の rig との接続のマスにはチェックを入れます。

必要に応じてキー割り当てなども設定して下さい。(ページ右上図参照)

すべての必要な項目を設定すれば保存を押してこの設定値を保存します。

入力画面でも設定が必要

通常、データをキー入力するときには Enter を押すと入力画面が現れます。この画面ではすでにトランシーバーからの周波数、電波形式を取り込んだ状態になっています。

この入力画面上で右クリックするとプルダウンメニューが現れてきますのでその中から入力環境設定を選択します。次に入力環境設定の中にある rig 接続設定を選択します。ここで設定項目は

使用するトランシーバーの選択 → FT-1000MP にチェックを入れる

データの取得状態 → 常に取得するを選択

また YAESU のトランシーバー設定に必要なものとしてはタイマーコマンドのマスの中にチェックを入れておかないと巧く動作しませんので要注意。

以上で設定は終了です。間違いなく設定できていれば rig の持っている周波数、電波形式のデータとパソコンが自動的に発生させる日付、時間、デフォルトのデータは HAM Log に取り込まれます。

どのトランシーバーがパソコンで繋がるかは取扱説明書にあります。古いトランシーバーは RS232C 用のレベルコンバーターなどが必要となる場合があります。ハードウェアが巧く繋がるとあとは同じように動作します。私のもう一台のトランシーバーで 15 年以上前に購入した TS-950SD でも全く問題なく動作しています。

国際協力 50 周年 記念事業特別記念局 8J10DA

JA3UB 三好 二郎

ODA(Official Development Assistance 政府開発援助) 50周年に当るのを機に有志が外務省、JARLとタイアップして特別記念局を開設し、ODA50周年を国内・海外に広くPRすることとし関東地区に固定の局8局と移動する局1局を開設し2004年12月10日から2005年3月31日までの期間、全国各エリアを移動運用している。今年1月2日3日は大阪で、1月20日から27日まで京都、兵庫、大阪各府県を移動運用し、主として当クラブメンバーが1.8MHzから1,200MHzまで、CW、SSB、RTTY、SSTV、FM多様なモードでオペレートした。

参考 2003年の日本の援助額は約1兆円で米国(約1.5兆円)に次いで第二位。第三位は仏国。日本は80年代に急増、89年に初めてトップとなったがここ数年減少傾向。過去50年間の援助対象は185カ国、累計24兆円。来年は英独にも抜かれ5位転落も。「日本の平和外交の切り札」「政治家の海外利権の温床」など、様々な評価をほらみながらの日本のODAは大きな曲がり角を迎えている。活動の質の向上や援助資金の増加の点で今後NGOや経済界との連携がカギと見られている。

政府開発援助 ODA について

ODAは開発途上国の経済、社会の発展や福祉の向上に貢献する為に行う、お金や技術による協力である。私はODAとは直接関係ないNGOの役員をしているがフィリピン、カンボジア、ラオス、中国、ベトナム、バングラデシュ、ミャンマー、パレスチナ等へ赴いて援助活動をしなが様々な体験と現場で認識を深めてきた。多くの税金のバラ蒔きともとれる無駄な援助がある一方で世界各地で日本人がコツコツと黙々と献身的な動きをして感謝、尊敬されている場面も見えてきた。カンボジアの主要幹線道路を結ぶ橋はODAによって建設され現地の人は「きずな橋」と呼んでいて500リエル紙幣の図柄にも使われている。ラオスの1万キープ紙幣にもODAによるパクセー橋が図柄になっている。その他フィリピンのニノイ・アキノ空港、バンコクの地下鉄、インドネシアアチェ州の救急車、ベトナムハノイのバクマイ病院等多くのものを見ることが出来る。ODAが効果を上げることによって地球環境が好くなることを私たちは望んでいる。そこで、ODA50周年を契機に別項で紹介する特別局8J10DAを3月31日まで開設運用している。



スラバヤ沖地震津波 被災地域救済義援金 送付報告

JA3VWT 中野 幸紀

ニューズレター 2005年1月号にJA3USA 島本さんが掲載された「タイ・アマチュア無線協会(Radio Amateur Society of Thailand; RAST)」発出のインド洋津波被災地域義援金募金呼びかけに多くのJI3ZAGメンバーが反応した。さらに、JA3UB三好さんからの呼びかけで、JI3ZAGメンバーだけでなく、メンバー外のハム仲間にも呼びかけることとなり、2005年2月10日までに37名及び1団体(JI3ZAG)から総額202,000円の義援金が集まり、1月14日(23名及び1団体分155,000円)及び2月10日(14名分4万7000円)の2回にわけてRAST副会長Tony Waltham氏(HS0ZDX)の管理しておられるRAST公金口座あてに送金させていただいた。これらの送金に対して、1月28日及び2月21日にTony Waltham氏(HS0ZDX)からJI3ZAG及び寄付者個人宛に義援金受領確認のe-mailが届いた。

義援金賛同・出捐者は以下のとおりである。順不同・敬称略でお名前とコールサインを列挙し、報告に代えさせていただく。なお、お名前が一部ローマ字標記のままとなっていることをお詫びいたします。

島伊三治(JA3AA)、三好二郎(JA3UB)、三好京子(JR3MVF)、山本哲夫(JA3PYC)、乾英夫(JA3BOA)、荒川泰蔵(JA3AER)、宮本誠一(JE3BEQ)、河田至弘(JP3AZA)、西彰(JK3IYB)、横内俊隆(JA3NHL)、杉山暁(JA3AOP)、嶋崎真波(JQ3EEL)、下津富雄(JO3LZG)、沖正典(JR3IXB)、武田正博(JA3FGN)、後藤太栄(JH3GAH)、廣松敏昭(JP3ILG)、印田光徳(JA3TXZ)、Kawase Katsuhide(JA8YYY)、島本正敬(JA3USA)、串馬博史(JA3TYF)、林(JA3GOJ)、中野幸紀(JA3VWT)、Okada Shin-Ichirou(JA3EQ)、三浦聡之(JA3CZY)、Nishima Teruaki(JA3QUU)、Baba Hideo(JA4HCK)、Matsumoto Toshihiro(JR4IMT)、Hishiki Hiromi(JJ1CAS)、島本カレン、藤岡直美(JO3AUZ)、Ueda Shigeru(JO3BAV)、Kato Ben(JA3GM)、中井正憲(JH3CHN)、Tanio Shizuyo(SWL)、Sugisaki Yasuko(SWL)、前田一成(JH3VEY)、及び大阪国際交流センター・ラジオクラブ(JI3ZAG)

一枚の写真から

N2ATT/KHO の巻

JA3AER 荒川 泰蔵

ローカルのJA3APU 直原さんに誘われて、2000年6月22日から5日間サイパン島へ出かけN2ATT/KHOで運用した。この旅行にはJA3HD 野村さんやJH3FFJ 今井さんも参加され、4人で各種バンド/モードを交互に運用して4,000QSOを越える成果を得た。サイパンは米国領で相互運用協定があるため、日本の免許があれば特別な運用許可を申請しなくてもそのまま運用できるため、皆さんはKHO/日本のコールサインで運用したが、私は米国の免許を持っているため日本のコールサインでは運用できず、米国の免許をベースにしたN2ATT/KHOと言うコールサインで運用した。この運用はサイパン島のマリアナリゾートホテルに準備されたヤエスのレンタルシャックを利用したため、アンテナやトランシーバーなどを運搬する必要がなく、大変に楽なDXベディションであった。集合写真はアンテナと太平洋をバックに、左からN2ATT/KHO, KHO/JH3FFJ, KHO/JA3APU, KHO/JA3HDの皆さん。

